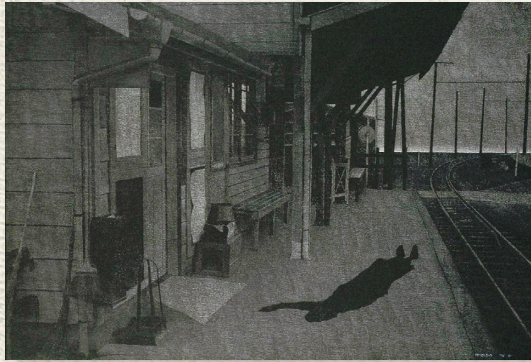


美術館コレクション

Art Museum Collection — 78 —



やしままさあき
八島正明 (1936-)

《行ってしまった》

1976年 油彩・キャンパス

4月8日(日)までの
常設展でご紹介！

小さな駅のホームに人の影だけがたたずむ不思議な作品です。モチーフとなったのは、三重県桑名にあった三岐鉄道の駅と、若き日の画家を見送った母の姿です。八島は、白い下地の上に黒い絵具を塗り、黒が乾く前に針で引っかき描くという独特な方法で、モノクロームの作品を描き続けています。画家の記憶の中にある私小説的な世界に、どこか懐かしさを感じながら、過ぎ去っていく時の大切さに気付かされます。

問 美術館 (☎23-1636)

歴史散歩

222



永福寺常夜燈

(西境町御宮)

永福寺の秋葉殿前に3基の灯籠があります。そのうち社殿前に2対になって建っている常夜灯には正面に「奉献秋葉山常夜燈」、後ろには「願主若者中」、側面には「文化五戊辰年正月吉日」「村中安全」と刻まれています。もと東境道(観音寺前の道)から東に入った北側にあったといわれています。秋葉殿には池大雅の木額が掲げられています。史料には「文化年中永福寺秋葉祭礼」と文言があることから、すでに永福寺に秋葉殿と常夜燈もあったのかも知れません。

かりやの風景 186

刈谷特別支援学校が開校(小垣江町)

今年4月に肢体不自由児を対象とした市立の特別支援学校が開校しました。子どもたちが共に学び、交流し、理解し合える環境をつくるため、小垣江東小学校敷地内に整備されました。

同じ敷地内には昨年9月に移転した第一学校給食センターがあり、特別支援学校の子どもたち向けの特別食(摂取機能に合わせて調理を施した給食)が提供されます。常駐看護師による医療的ケアの実施など、一人一人の特性に応じた配慮が充実しています。

